

第7期（令和3年4月～令和4年3月）



まつもと子ども未来委員会 活動報告集



松本市

目次

I	はじめに	1
II	第7期まつもと子ども未来委員会実施要項	2
III	第7期まつもと子ども未来委員会委員	3
IV	委員会開催状況	4
V	活動内容	
1	今年度の取り組み	5
2	今年度のスローガン	5
3	サポーターの参加	5
4	提言への学習	6
5	提言のリハーサル	11
6	市への提言	12
7	市への提言の振り返り	16
8	各課照会結果の報告	17
9	次期委員会に向けた反省や意見	20
VI	その他委員会の活動	
1	「平和の集い」でのメッセージ発表	21
2	こどもの権利についてのテレビ収録	22
VII	資料	
1	市への提言	23
2	平和の実現を願って	44
3	未来委員会初回アンケート結果	49
4	未来委員会最終回アンケート結果	52
5	未来委員会保護者向けアンケート結果	58

I はじめに

○ 松本市子どもの権利に関する条例 前文(一部抜粋)

わたしたちは、「すべての子どもにやさしいまち」をめざします。

- 1 どの子どもいのちと健康が守られ、本来もっている生きる力を高めながら、社会の一員として成長できるまち
- 2 どの子ども愛され、大切に生まれ、認められ、家庭や学校、地域などで安心して生きることができまち
- 3 どの子ども松本の豊かな美しい自然と文化のなかで、のびのびと育つまち
- 4 どの子ども地域のつながりのなかで、遊び、学び、活動することができるまち
- 5 どの子ども自由に学び、そのための情報が得られ、支援が受けられ、自分の考えや意見を表現でき、尊重されるまち
- 6 どの子どもいろいろなことに挑戦し、たとえ失敗しても再挑戦できるまち

「松本市子どもの権利に関する条例」が施行されてから9年が経ちました。少子化が社会的な問題となって久しい昨今、多くの自治体が少子化対策として「子育て支援」に取り組む中、本市では、条例に基づき、「子どもの権利」という視点で、子ども自身の育ちに関わる「子ども支援」にも力を入れて取り組んでいます。

その取り組みの一つが、まつもと子ども未来委員会です。未来委員会は、年齢も学校も住んでいる地域も違う子どもたちが、松本のまちづくりについて考え、話し合い、活動しており、交友関係を広げながら子どもの意見表明・社会参加を促進しています。このような取り組みは、子どもたちが自らの意見を表明し、それを受け止めてもらえること、相手の意見に耳を傾け、受け止められるようになることで、自己肯定感を育むことや、子ども自身の育ちにもつながると考えています。

さて、第7期まつもと子ども未来委員会は、8月15日の終戦記念日に開催された「平和の集い」での発表の依頼があり、戦争による子どもへの被害や、平和の実現のために課題となっていること、自分たちができることなどをまとめ、平和の実現に向けたメッセージを発表しました。

また、松本のまちづくりに関する市への提言では、委員が関心を持った①環境、②コロナ対策、③PR、④SNSの4つのテーマについて、学習を進め、話し合い、意見を集約するなどの取り組みを通して、具体的な提言を行いました。

今期も市内の大学・短期大学に通う学生にサポーターとして参加いただいたことで、子どもの意見表明が活発となり、未来委員会の活動がより充実しました。サポーターの皆さん、ありがとうございました。

「子どもの権利」の取り組みは、なかなか他の自治体に広がらない現状があります。未来委員会のように、子どもたちが本来持っている力を発揮して成長していく場が広がっていくこと、そのような場で活躍する子どもたちの力に大人が気付くことをとおして、「子どもの権利」に関する取り組みが、県内外に更に広がっていくことを期待しています。

Ⅱ 第7期(令和3年4月～令和4年3月)まつもと子ども未来委員会実施要項

1 趣旨

子どもにやさしいまちづくりを一層進め、子どもの意見表明や参加の促進を図るため、まつもと子ども未来委員会を開催するもの

2 内容

子どもたちが、学校、地域、年代を越えて、市政や地域の課題について学び、解決に向けて意見交換をするなど、活動をとおして自分たちが住むまちへの意識を高め、松本のまちづくりを子どもたち自らが考える。

3 対象

松本市内在住、在学または市内で活動をしている小学5年生から高校3年生相当(就労者、予備校生等含む)まで、おおむね30人程度を予定

4 活動期間

令和3年4月～令和4年3月

5 主な事業

- (1) 子ども未来委員会
- (2) 市内見学
- (3) 市への提言
- (4) 委員の興味・関心のある事業への参加・実施

6 参加者募集方法

- (1) 市内小中高校へ募集チラシとポスターを配布
- (2) 松本市公式ホームページ、公式SNS、広報まつもと3月号に掲載

7 参加者募集期間

3月1日(月)から4月14日(水)まで

8 その他

委員会活動の支援を行う大学生サポーターを設置

Ⅲ 第7期「まつもと子ども未来委員会」委員

1 総数 42名

2 内訳

学 年		学 校 (人数)
小学生 19名	5年生 10名	梓川小学校(2)、開智小学校(2)、鎌田小学校(2)、清水小学校(1)、 信州大学附属松本小学校(2)、田川小学校(1)
	6年生 9名	今井小学校(1)、鎌田小学校(4)、島立小学校(2)、田川小学校(1)、 筑摩小学校(1)
中学生 20名	1年生 7名	安曇中学校(1)、鎌田中学校(1)、信州大学附属松本中学校(1)、 信明中学校(1)、高綱中学校(1)、筑摩野中学校(1)、松島中学校(1)
	2年生 4名	旭町中学校(1)、鎌田中学校(1)、信州大学附属松本中学校(1)、 筑摩野中学校(1)
	3年生 9名	会田中学校(1)、旭町中学校(3)、梓川中學校(1)、筑摩野中学校(1)、 明善中学校(1)、女鳥羽中学校(2)
高校生 3名	1年生 2名	松本蟻ヶ崎高等学校(1)、松本深志高等学校(1)
	2年生 1名	東京都市大学塩尻高等学校(1)

3 名簿

(50音順、◎委員長 ○副委員長)

学 校	氏 名					
小学生	あさい そうや 浅井 想矢	あらい ゆいと 荒井 結人	あらえ はな 荒江 杷心	いしだ れいか 石田 鈴華	いとう えれな 伊藤 英怜奈	
	おおさわ しゆか 大沢 朱夏	おおさわ はる 大澤 悠	かみじょう のあ 上條 乃愛	かわしま えいたろう 川嶋 栄太郎	こいけ ともゆき 小池 智之	
	こいけ ゆうな 古池 優奈	すぎの ひろき 杉野 広樹	すずき さほ 鈴木 咲歩	たかおか みずき 高岡 瑞希	つぼた たくま 坪田 拓磨	
	のしま りょう ○野鳥 凌	ひらかた とうこ ○平形 藤子	ふじいけ なつき 藤池 夏希	やまだ むさし 山田 夢佐志		
中学生	あおき もえか ◎青木 萌花	あおやま ひゆうま 青山 飛真	あべ こうすけ 阿部 康介	あんざわ うみ 安澤 優海	いけだ ちほ 池田 千歩	
	いのう りの 井崑 莉乃	おかもと そのか 岡本 苑加	おきもと ゆうま ○沖本 悠真	かわだ みく 河田 美紅	さくらい あい 櫻井 愛	
	さくらい まい 櫻井 舞	たかやま あきほ 高山 暁歩	たきかわ みお 滝川 未央	たきざわ ともき 滝澤 智貴	ぬのかわ れいあ 布川 怜愛	
	はしもと こうけん 橋本 昂賢	ふじいけ はるひ 藤池 春妃	ふじさき ゆうり ○藤崎 悠理	もりや りお 森谷 理生	よこかわ うた 横川 詩	
高校生	あおき ゆあ 青木 結愛	すずき ゆずは 鈴木 柚葉	ねもと れいな 根本 怜奈			

IV 委員会開催状況

回	日時	場所	内容
1	4月25日(日) 13:30~16:00	あがたの森文化会館 2-8会議室	・オリエンテーション ・正副委員長の選出
2	5月23日(日) 13:30~16:00	松本市役所 本庁舎3階 大会議室	・第7期委員会のスローガン決め ・第7期委員会の活動テーマ決め
3	6月13日(日) 13:30~16:00	松本市役所 本庁舎3階 大会議室	・活動グループの決定、内容の検討 ・市内見学場所についての話し合い
4	6月27日(日) 13:30~16:00	中央図書館 視聴覚室	・「平和の集い」の発表について ・活動に関する話し合い、学習 ・市内見学場所の決定
5	7月18日(日) 13:30~16:00	中央図書館 視聴覚室	・「平和の集い」の発表資料作成 ・市内見学スケジュールについて
6	8月1日(日) 13:30~16:00	中央図書館 視聴覚室	・「平和の集い」の発表資料作成 ・活動に関する話し合い、学習
	8月2、4、6日 (いずれかの日程)	松本警察署、松本クリーン センター、市街地井戸、アル ピコ交通本社	・市内見学(活動グループごと)
7	10月3日(日) 13:30~16:00	松本市役所 本庁舎3階 大会議室	・市政広報番組の出演について ・市内見学の振り返り ・活動に関する話し合い、発表資料作成
8	10月10日(日) 13:30~16:00	あがたの森文化会館 ホール	・活動に関する話し合い、発表資料作成
9	10月17日(日) 13:30~16:00	松本市役所 本庁舎3階 大会議室	・活動に関する話し合い、発表資料作成
10	10月31日(日) 13:30~16:00	あがたの森文化会館 2-8	・発表練習、資料最終調整
11	11月14日(日) 13:30~16:00	勤労者福祉センター 大会議室	・リハーサル
	11月21日(日)	勤労者福祉センター 大会議室	・市への提言
12	12月5日(日) 13:30~16:00	あがたの森文化会館 ホール	・市への提言の振り返り ・次期委員会について

※新型コロナウイルス感染症の影響で、1~3月に開催予定だった13~15回は中止

V 活動内容

1 今年度の取組み

未来委員会の活動としてやりたいことを皆で話し合い、実際に行った活動の成果や活動をとおして考えたことを市に提言する。

2 今年度の「スローガン」

全員で出し合った候補案の中から、多数決を行い、今年度のスローガンにふさわしいものを選びました。

【各グループのスローガン案】

- ① 輝く松本の今、そして未来を創ろう
- ② 楽しく暮らしやすい街をつくる為、松本の”^{いま}現在”を見つめ直そう
- ③ 未来の松本のために支え合おう
- ④ 明るくキレイな松本を協力してつくろう
- ⑤ ゴミ問題を解決し、未来につないで新しい道を切り開こう
- ⑥ 安全できれいな松本をみんなでつくりあげよう
- ⑦ 松本の魅力を見つけよう



その結果、得票数が一番多かった ①「輝く松本の今、そして未来を創ろう」に決定しました。

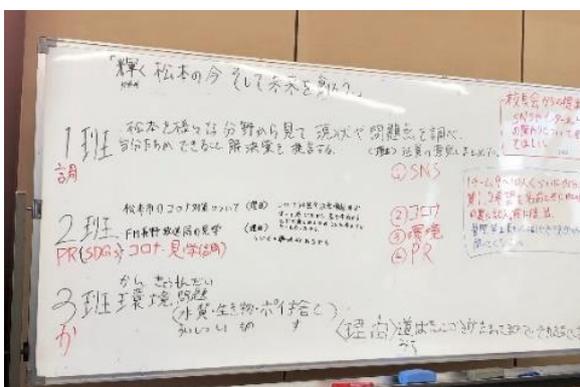
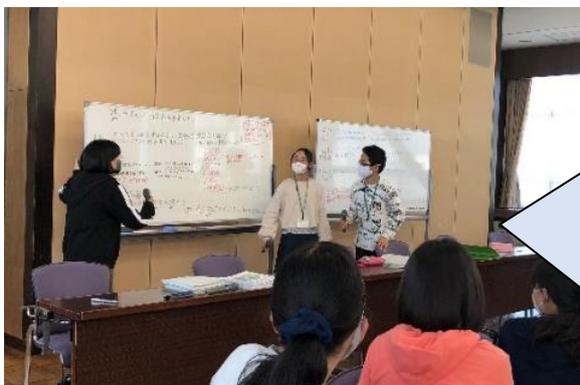
3 サポーターの参加

委員会の活動を支援し、委員の成長を図るとともに、子どもの意見表明や参加の促進を図ることを目的として、まつもと子ども未来委員会サポーターを設置しています。

今年度は市内の大学生7名が、まつもと子ども未来委員会のサポーターとして参加しました。

4 提言への学習

(1) 活動内容の検討



【今年度取り組みたい活動の案】

- ① 松本を様々な分野から見て、現状や問題点を調べできる事、解決策を提言する
 - ② 松本市のコロナ対策について
 - ③ FM長野放送局の見学
 - ④ 環境問題
 - ⑤ SDGs
 - ⑥ SNSやチラシを使って環境・観光のことを伝える
 - ⑦ 飲食店周辺のごみ拾い
 - ⑧ 自然PRのために市内見学・調べる
- ※ 校長会より SNSなどに関したこと学習して発表してもらいたい

多くの意見が出た中で話し合いの中で、委員が特に興味を持った①環境について②松本市のコロナ対策について、③松本市の PR について④SNS についての、4つグループごとに分かれて学習し、活動を行うことに決定しました。

(2) 具体的な学習・活動についての話し合い

子どもの権利を周知するためにできたらいいなと思うこと、未来委員会でできること、したいこととの意見を出してもらいました。

できたらいいなと思うこと	未来委員会でできること、したいこと
ポスターを貼る クイズラリー 広報まつもとや市政広報番組で周知する 校内や公共施設などでの放送 冊子を配る 名前をわかりやすく変える	ポスター・パンフレット・PR 動画・紙芝居づくり 劇 SNS で情報を発信する 子どもの権利の日フォーラムで紹介する ポスター・パンフレットなどは対象年齢に合わせて何種類か作る

市への提言に向けて、具体的にどのような学習・活動をしていきたいかということについて、各グループで意見を出し合いました。

【具体的にやってみたい学習・活動】

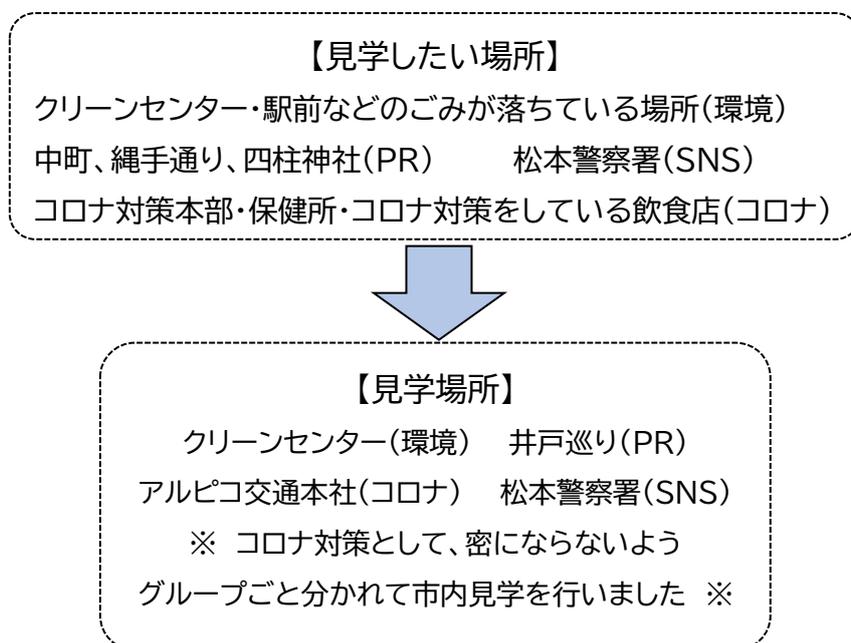
	環境	PR
調べる内容	松本の環境の現状 →どのような影響があるか	観光地のいいところ
課題	分別・ポイ捨て	コロナ禍、誰にPRするか 観光客に知られているところか、 知られていないところがいいか
提言	分かりやすい呼びかけ マイバック、 マイボトルキャンペーン ポスターを作る 灰皿、ごみ箱の設置	コロナ禍でのPRについて イベントの提案

	コロナ	SNS
調べる内容	松本市の感染状況 コロナ対策 ⇒ 分析	SNSでのいじめ 危ないサイト
課題	コロナに感染する不安 差別	
提言		ネット上の差別 子どもとSNSの関係

(3) 市内見学

委員会の活動内容に関連した場所を訪問し、活動についての新しい知識を得たり、理解を深めたりするために、市内見学を実施しました。

例年は、委員全員で見学をしていますが、コロナ禍ということもあり、グループごとで見学を行いました。調べたいことに沿って、各々見学場所を決めました。



【見学の様子】

① 環境グループ【松本クリーンセンター】

松本クリーンセンターの方に、施設内の見学と説明をしてもらいました。



【 松本クリーンセンターで学んだこと 】

- 松本クリーンセンターでは、松本市、塩尻市、山形村、朝日村のごみを処理します。
可燃ごみは焼却され、燃え残った灰は最終処分場で埋められます。破碎ゴミ、粗大ごみは細かく砕かれ、燃える部分は焼却、金属類はリサイクルされます。容器包装プラスチックはフィルムでサイコロ状にまとめられ、再生工場へ送られます。
- 可燃ごみは1日約300トン、破碎ゴミは年間約400トン、粗大ごみは年間約2,200トン、プラスチックごみは、年間約900トン、回収、処理されています。年間のCO2排出量は4万600トンです。
- 焼却炉は、点火するのに灯油を約3,000リットル使い、灯油を1リットル100円とすると点火の費用に30万円かかります。一度点火すれば、ゴミを絶えず焼却することで、燃え続けます。人件費なども含め、クリーンセンターを維持管理するために年間10億円かかります。
また、焼却の際に発生する高温の熱を使って温水を作ったり発電をしたりしています。温水はラウラ松本のお風呂や温水プールに使用され、発電された電気はラウラ松本とクリーンセンターの電気に使われています。また、余った電気は電気事業者に売っています。

② コロナグループ【アルピコ交通】

アルピコ交通株式会社の本社の方に、お話を聞きました。

バスは、路線バス、高速バス、貸し切りバスの3種類を運航していて、主に路線バスのお話をいただきました。



【 アルピコ交通で学んだこと 】

- 利用はコロナ前の2/3程度で、通勤通学の利用はあるが、観光客が激減している。路線バスより東京、名古屋、大阪などと結んでいる高速バスの影響は大きいとのことでした。
- 空気の入替えは、バス停でドアを開ける時や、換気扇や窓を開けての走行をすることで行っています。車両の空気は5分で全部入れ替わるようになっています。消毒スプレーやプラズマクラスターなども配備しており、運転席にはビニールシートを設置しています。その他、マスクの着用や会話を控えてもらうように呼びかけを行っています。
バスが車庫に戻ってきた時には、人が触れるところの消毒や、運航途中も時間がある時は乗務員が手すり等の消毒を行っています。
- 換気や消毒に敏感になったお客さんが多く、乗客人数が多いと密になってしまうことなどを気にする人が多い。また、県をまたいでの往来や外国人が少なくなったとのこと。

③ PRグループ【松本市街地井戸】

2つのチームに分かれ全部で9か所の井戸の見学をしました。

A チーム：東門の井戸、辰巳の御庭、なわて若がえりの水、蔵の井戸、源池の井戸

B チーム：女鳥羽の泉、槻井泉神社の湧水、鯛萬の井戸、北門大井戸



【 市街地の井戸で学んだこと 】

- 源池の井戸：市内の名水の一つで、城下町が形成される以前から飲料水として使用されてきました。天保14年(1843年)に書かれた「善光寺道名所図会」には、「当国第一の名水」とあります。松本の酒造業者は、みんなこの水を使い、歴代の城主は不浄を禁ずる政令を出し、この清水を保護したといわれています。
- 槻井泉神社の湧水：薄川、湯川の複合扇状地の先端に位置するこの地一帯は、豊富な湧水や湧泉がみられます。この湧水もその一つで、古くから人々に親しまれており「清水」の地名の由来になっています。江戸時代からこの水を利用して、染色・製紙が行われていました。
- 女鳥羽の泉と槻井泉神社の湧水にはありませんでしたが、他の井戸は近くに成分表が張り出してありました。

④ SNSグループ【松本警察署】

松本警察署生活安全第1課の方にSNSやインターネットを通じての被害などについてお話をしてもらいました。



【 松本警察署で学んだこと 】

○ 令和2年にSNSで事件に巻き込まれた18歳未満の子どもは全国で1,819人、県内は18人。警察で把握している数なので、もっと多いかもしれない。種類別では Twitter やインスタグラムがきっかけの被害が多くなっています。

また、SNSで特殊詐欺の受け子の募集を見つけて応募し、その後少年は逮捕されました。今は「闇バイト」や「裏バイト」などと検索すると簡単に見つけることができ、とても危険。昔は、先輩などが窓口となって紹介していましたが、今はSNSが簡単に犯罪の入り口になってしまっています。

○ 中高生の7人に1人はネット依存症。ゲーム障害の子どもたちは遅刻、不登校、成績低下、家庭内暴力という症状が半年の間起こります。1日に3時間以上ゲームをしている子は、成績低下や居眠りが起こります。ネットを長時間使うと、勉強時間が長くても成績が低下するといわれています。

○ みんなにすぐできることは、相手のことを考える、悪口や差別をしない、悪口に対して「いいね」などでおおることをしない など、当たり前のことを守ること。

(4) 提言に向けたグループ活動

提言で発表する内容を考えました。

<p>【環境グループ】</p> <p>マイボトルキャンペーン 給水場の整備、ステッカー配布 環境ポスターを作る</p> 	<p>【コロナグループ】</p> <p>コロナについての授業をする 先生の講義ではなく自分たちで調べ学習をして発表するなど</p> 
<p>【PRグループ】</p> <p>井戸についての広報 お便りの配布 アンケートを取る</p> 	<p>【SNSグループ】</p> <p>SNS上のいじめなど 個人情報、SNSについての学習を深める</p> 

学習・活動の様子



5 提言のリハーサル

提言の約1週間前に、本番と同じ会場の勤労者福祉センターでリハーサルを行いました。

ア 発表の準備

グループごと、作成した発表の原稿を確認し、読み合わせを行いました。
あわせて、壇上に上がる前の立ち位置の確認も行いました。

イ リハーサル

パワーポイントのスライドをプロジェクターに映し、当日と同じ状況でリハーサルを行いました。



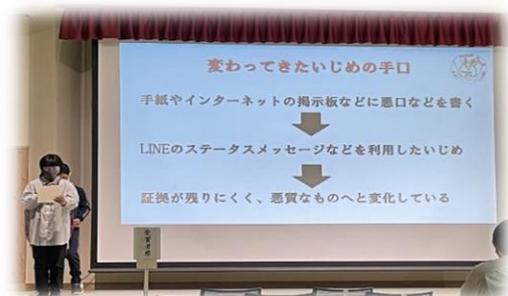
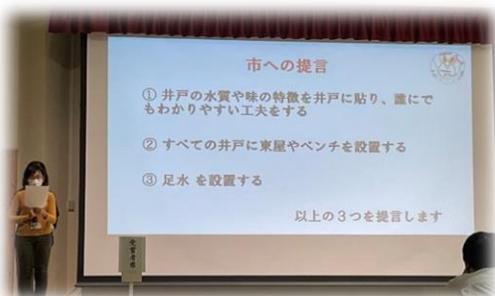
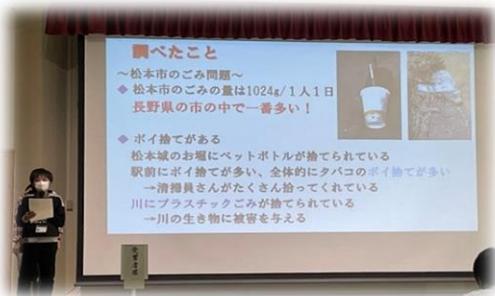
6 市への提言

【環境グループ】

- テーマを選んだ理由
松本市のごみの量について興味を持った
環境汚染などで自然が少なくなってしまうことが心配
- 課題
ポイ捨てが多いこと 県内のほかの市町村に比べてごみの排出量が多いこと
- 提言
マイボトルキャンペーン→マイボトル持参者にステッカーを配布、お店で割引
給水場所の設置 新しく環境のポスターを作る

【コロナグループ】

- テーマを選んだ理由
コロナで不安な人たちのことを考えたり調べたりしたかった
松本市の現状を知りたかった
心無い言葉をかけられる等の二次被害への対策を知りたかった
- 課題
ワクチン接種日が平日だと、学校を欠席・早退しなければならない
身近で感染者が出ると、感染者について深く調べてしまう
修学旅行に行けなかったり行き先が変更になったりした、給食の黙食が辛い
- 提言
教室に換気扇を設置する ワクチン接種を長期休暇に行う
リバウンド防止の外出自粛期間を設ける
自分たちで考える形でコロナについての授業をする
修学旅行などの変更は子どもたちにも相談をする



【PRグループ】

- **テーマを選んだ理由**
松本の観光地＝松本城となっているので、松本の水はきれいだということをもっと多くの人に知ってもらいたいから
- **課題**
水質表がわかりにくい
井戸の周りを憩いの場として活用できるようにしたい
- **提言**
水質や味の特徴を誰にでもわかりやすくまとめ井戸に貼る
井戸に東屋やベンチを設置する 足水を設置する(足湯のように)

【SNSグループ】

- **テーマを選んだ理由**
SNSを利用する機会が増え、同時にSNSに関する問題も増えてきたと感じ、現状を知りたいと思ったから
- **課題**
SNS上のいじめ
長時間利用したことでの健康被害 個人情報の流出
- **提言**
ネットによるいじめなどの困りごとを相談する窓口を設置する
勉強できない＝スマホの使いすぎという概念を変える
SNSの制限だけではなく、正しく恐れることの大切さを教える
学校などで、目のストレッチをする時間を設けるなど、健康被害の対策を行う

ア 市関係者からのコメント

臥雲市長

(ア) 環境について

- ・ マイボトルキャンペーンについては、松本市と信州大学で街中に浄水器を設置して、マイボトルを持参することを習慣にしたり、市外の人にもおいしさを知ってもらったりする取り組みをしています。マイボトルの活用でプラスチックへの依存を減らし、プラスチックを作る際の二酸化炭素を減らすことで、地球温暖化気候変動を抑えていくことにもつながります。
- ・ ポスターを作るといった提案は、子どもたちが作るポスターだからこそ多くの人目が向けてくれると思います。紙のポスターだけではなく、SNSやインターネットを使っての告知というのも考えていってほしいです。
- ・ ポイ捨てについては、たばこのごみが多いということでしたが、松本市では受動喫煙禁止条例を制定して駅前周辺では歩きたばこなどを規制しています。松本城周辺も対象区域に指定する予定ですが、歩きたばこが無くなりポイ捨ても無くなればと思います。受動喫煙禁止区域を広げていくことも皆さんの声を聴きながら進めていきたいと思っています。

(イ) コロナ対策について

- ・ コロナは大人も子どもも、この一年半制限をして生活をしてきました。現在は全国的に感染者が減っており、ワクチンの効果が大きいのではないかとされています。80%以上の人がワクチン接種をすると、未接種の人も感染しにくくなる。これを集団免疫といいます。集団免疫ができて、コロナの感染を抑えられている状況が続けていけば、我慢してきた修学旅行などの学校行事を行うことができるのではと思います。
- ・ 自分たちで考える授業については、何がわかっていて何がわかっていないのか。何が問題で何ができるのかということ、先生たちと一緒にわかっている範囲のことから考えてもらいたいと思います。

(ウ) 井戸のPRについて

- ・ 松本市は井戸や地下水が市街地にたくさんあり、生活と結びついており、観光客も井戸巡りを楽しみにしている人もいます。十分PRできてないという意見はそのとおりで、市では井戸の場所や特徴をインターネット上でも分かりやすいような工夫を少しずつ進めています。東屋やベンチは設置のある個所もあると思いますが、ないところもたくさんあります。足水については暑い季節に活用できるのではないかと思いました。
- ・ 松本は、川の水が綺麗なのも特徴なので、川を安全に楽しんでもらうことも市で検討しています。川を楽しんでもらうためにはどうすればいいかアイデアをもらえればと思います。

(I) SNSの使い方について

- ・ 1人1台端末ということで、小中学生がタブレットかパソコンを学校で使えるようになりました。悪い使い方に気を付けなければならない一方で、「危ない」とか、「悪い」ということが言われすぎてしまうと、十分に使いこなせない。タブレットは21世紀の便利な文房具として小中学生に使い倒してほしい。SNSの使い方でのじめなどに繋がる危険があることと合わせて、使い方をしっかり学んで、便利なツールとして使い、勉強に好奇心を持って取り組んでもらえたらなと思います。

伊佐治教育長

(ア) 環境について

- ・ ポイ捨てが多いことは以前からの課題で、改善されないのはいかに難しい取り組みということ。市民一人一人の意識を変えなければならないことに難しさがあると思います。
- ・ マイボトルを持つことでメリットがあるのではないかと考え、具体的に考えたのはリアリティがあって良かった。
- ・ 松本市は県内の中でも一番ごみの排出量が多いとの発表でしたが、生活系だけではなく、事業系のごみも多いです。観光客がやってくるため、ホテルやお店が多く、ごみが増えてしまうのかなと思います。事業系のごみを減らす取り組みのためにはどんなことが必要なのか一緒に考えてもらえるといいなと思いました。

(イ) コロナ対策について

- ・ 皆さんの心の叫びを聞いて大変切なくなりました。みんなが伸び伸びと自由に楽しく過ごしてほしいと思っているので、給食の黙食が辛いことや修学旅行に行けなかったことについて、我慢をさせてしまっていることはとても心苦しく思っています。

- ・ 教室に換気扇を設置する提案については、効果があるかも含めて検討してみたいと思います。ワクチンの接種を長期休暇にそろえる提案については、5歳～11歳の接種が始まるので、検討していきたいと思います。
- ・ 何よりも素晴らしいと思ったのは、コロナはどんな怖さがあるのかを自分たちで考える授業をやりたいという意見はとても心強く思いました。さっそく先生方と相談したいと思います。
- ・ 修学旅行の変更のことについては、選択肢を用意して子どもの意見を聞いてくれた学校もあるので、なるべく意見を聞いてもらうようお願いをしていきます。

(ウ) 井戸のPRについて

- ・ 東屋やベンチの設置はいいアイデアですが、井戸は場所が限られてしまうので、設置するのが難しい場所もあると思います。設置できる場所については、休める場所があれば活用も広がると思いますので、検討してもらいたいと思います。

(I) SNSの使い方について

- ・ SNS については、市長や私が一番心配していることで、学校にGIGA端末が配備されました。町田市でGIGA端末を使ったいじめがあり、その子が自殺してしまった事件もありました。発表にあったようにいじめが起きる原因という、根本的なところに目を向けていくことが大事だと思いました。今回大人が思いつかないようなことを提案してもらったと思いました。年代の高い大人はインターネットやパソコンに慣れてないので、みんなが自ら考えて今回のようにルールを作り、それを若い人に広めてもらうのが一番効果的ということを改めて感じました。



7 市への提言の振り返り

市への提言後の委員会では、グループごとに分かれて、提言の振り返りを行いました。

◎ 良かった点

【個人】

はっきり、堂々と話すことができた。前を見てすらすら話せた。噛まなかった。集中してコメントを聞けたし、ほかのグループの提言についてのコメントも聞けた。スムーズに移動できた。焦らず、ゆっくり発表することができた。

【グループ】

分かりやすく伝えることができた。落ち着いてできた。役割分担がしっかりできた。みんな意見を出すことができた。全員出席できた。当日の急な変更にも対応できた。

メンバー全員が主体的に動いていた。準備を早く終わらせることができた。

【全体】

声が大きくてよかった。マイクの受け渡しがスムーズにできた。

「提言する」という目的をもってできた。静かに並べた。

リハーサルの時に注意されたことを守れた。

☆ 反省点

【個人】

声が少し小さかった。集中が途中で切れてしまった。淡々と話してしまった。

緊張でがちがちになってしまった。息継ぎする場所を声が震えてしまった。

【グループ】

まとまりがなく、別のことをやっている人がいた。

原稿の割り方が入り組んでいた。

情報不足で、提言内容が実現されている箇所があった。

時間の有効活用ができなかった。

【全体】

声量の差が大きかった。

○ 市長・教育長のコメントを聞いて感じたこと

【環境】

提言したことに対して、対応してくれるようでよかった。

褒めてくれてうれしかった。事業系のごみについても注目すればよかった。

提言したことの中に、すでに実施していることもあり、他に提言することができればよかった。市の取り組みを深く知ることができた。

【コロナ】

しっかり聞いてくれてよかった。もっと深く調べて分かりやすくまとめたい。

【PR】

井戸のPRは既に行っていることが分かった。東屋は設置できる場所に設けてほしい。

足水は夏しか活用できないので、冬はどうするのか。川についても考えてみたい。

【SNS】

一人一台端末を持つことによるメリットデメリットをまとめて、同世代の子たちに便利に使ってほしいと感じた。

提言したことがきちんと伝わり、行動しようとしてくれることがよかった。

8 各課照会結果の報告

市への提言の際に提示した案や意見などに対し、各課の実際の事業に反映できるのか、できない場合はどういった理由なのか照会をかけました。

環境についての提言 【担当課:環境エネルギー課】

① マイボトルを持参すると、ステッカーの配布、お店で割引をキャンペーンとして行う。

回答:今後検討したい

ステッカーを配布は、経費が掛かるため、グリーンライフポイントや松本コインなどを活用して、マイボトル活用者に有益になる方策を検討したい。

② 給水場所を設置してほしい。

回答:すでに取り組んでいる。

信州大学と連携して、アクアスポット「SWEE」を令和3年11月から市役所東庁舎や観光情報センター等、市内5カ所に設置しました。

今後も信州大学と協力し、来年度以降も市有施設、民間施設も含め設置を進めるとともに、市内の湧水との一体的な周知啓発を行います。

環境についての提言 【担当課:環境業務課・環境保全課】

ポイ捨て防止や分かりやすいゴミの分別のポスターを作成

回答:すでに取り組んでいる

ポイ捨て防止啓発活動として、春のごみゼロ運動・秋の散乱空き缶等追放キャンペーンおよび松本駅前でも年4回啓発活動を行っています。また、不法投棄防止看板を作成し必要な場合各町会へ渡しています。

ごみ分別表(ごみ・資源物の分け方・出し方)の文字の大きさについては、必要な情報量が多く紙面の都合上小さくなってしまいます。ホームページや携帯アプリの中にあるごみ処理辞典の活用をお願いしています。

コロナ対策についての提言 【担当課:学校教育課】

① 全ての教室に換気扇を設置

回答:今後検討したい

換気扇があれば、常時換気扇を動かし廊下を経由して、常に新鮮な空気が取り入れることが出来ますが、ストーブを焚いていても室温が上がりにくくなります。また、換気扇が無い場合は、休み時間等に窓を開けて一気に空気の入れ替えを行うことが出来ますが、室温が一気に下がり、寒くなります。換気方法がいろいろある中で、換気扇設置がどれだけ効果があるのかも含めて、今後検討していきたい。

なお、学校における適切な学習環境を確保するためにストーブの強さを調整し、教室が寒くならないよう学校に伝えています。

② コロナについて何が問題でどう解決すれば良いか自分たちで考える授業を行う

回答:既に取り組んでいる

感染者や感染者の家族に対する差別や偏見をなくすよう、授業例を示し、各学校で取り組むよう指導をしています。児童生徒の皆さんが自分たちで主体的に考えることのできる授業をこれからも大切にしていきます。

③ 学校行事や修学旅行などの変更は、子どもたちにも相談をする

回答:その他

各種行事の判断は、場合によって児童生徒の皆さんの命を守ることを含む重い責任があり、学校長が行うこととなっています。しかし、その判断の中で、できる限り児童生徒の皆さんの希望をくみ取ることは大切ですので、教育長から校長先生をお願いをしました。また、教育委員会では昨年度から学校運営ガイドラインを示し、学校行事や修学旅行を内容の変更や延期をしたとしても、中止にしないよう助言しています。

PR についての提言 【担当課:都市計画課・文化財課】

① 水質や味の特徴を分かりやすくまとめたものを井戸に貼る

回答:その他

市が管理する井戸は、要領により水質検査を行っており、毎年 1 回以上、40 項目の水質検査をしています。その結果、検査項目のすべての基準に適していますので、飲用としての利用は可能です。しかしながら、地下水は水道水のような消毒がない生水であることから、表示については、「きれいな松本の自然の水」として統一の表記としています。

② 全ての井戸に東屋やベンチを設置する

回答:その他

現在市で所管している井戸は、借地や敷地が限られているものが多く、増設は困難です。

③ 足水を設置する(足湯のお湯を井戸水にしたもの)

回答:その他

足水に関しましては、敷地に限りがあるうえ、足水用に改修しないと衛生面上の課題があることから困難です。

SNS についての提言 【担当課:学校教育課】

① インターネットでのいじめなどの困りごとを相談する窓口を設置する

回答:今後検討したい

いじめの相談窓口、ネットトラブル窓口はすでに複数あり、学校へも小さなカードなどで通知済みになっているものもあります。必要であれば、それをまとめたものを再度通知していくことも検討しております。

② 勉強できない＝スマホの使いすぎという考えを学校側と協力して変える

回答:既に取り組んでいる

学力との関係はともかく、スマホの使用時間が長くなってしまふ心配は多くの子どもや大人が感じている課題だと思っています。どうしたら適切に使っていくことができるか、みんなで考えていく授業などを行うよう学校に働きかけていきます。

③ SNSの使用を制限するだけでなく、知識や正しく恐れることの大切さを教える

回答:既に取り組んでいる

子どもたちの SNS の利用については学校外の活動であり、学校が推奨するものでもそして制限するものでもないと考えております。ただし、その使い方については、それを考える機会がないと考え、各校で外部講師を招いたネットモラル講演を行っております。今後もその内容や機会の拡充も検討してまいります。また、子どもたちが主体となってルール作りをしていく取組みも協力してもらえたらありがたいと思います。

④ 学校などで、目のストレッチをする時間を設けるなど、健康被害の対策を行う

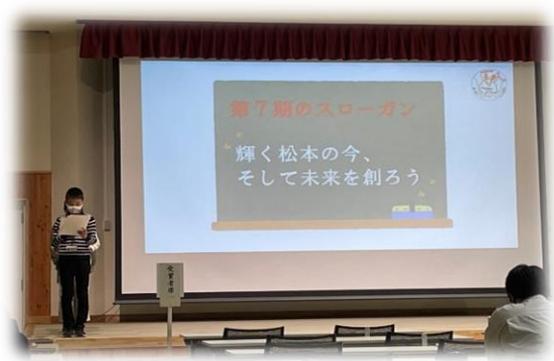
回答:今後検討したい

健康づくり課と相談し、視力低減防止策を検討していきます。

9 次期委員会に向けた反省や意見

- ・ 事業系のごみを減らす政策を考える。 ・ これまでの未来委員会の提言を知りたい。
- ・ 市庁舎見学などをしたい。 ・ 未来委員会の知名度を上げるお楽しみ会。
- ・ お便りの配布。 ・ 川の水の PR、地下水の PR。 ・ 勉強との向き合い方を考える。

【年間を通じての活動の様子】



VI その他委員会の活動

1 「平和の集い」でのメッセージ発表

平和推進課より、8月15日の終戦記念日に開催される「平和の集い」で平和の実現に向けたメッセージを発表してほしいとの依頼がありました。みんなで意見を出し合い、発表に向けて学習をしました。学習内容は、グループごとパワーポイントにまとめてもらい、事務局で1つのパワーポイントにして、イラストなどを入れました。

当日は未来委員会の活動について説明したのち、「平和の実現を願って」というタイトルで「戦争による子どもの被害」「平和の実現に必要なこと」「平和の実現に課題となっていること」「平和のために自分たちができること」について発表してもらいました。

戦争による子どもへの被害

- ・ 食糧不足による栄養失調、難民や疎開によって家族と離れ離れになってしまう。
- ・ 無理やり子ども兵にされてしまう少年少女が、25万人以上いる。
- ・ 黒い雨による健康被害は、76年たった今も議論されている。
- ・ 同世代の子ども6人に1人が、何らかの形で戦争に巻き込まれている。

平和の実現のために必要なこと

- ・ 学校に通って勉強できたり、毎日ご飯を食べられることは、日本では当たり前のことかもしれないけれど、当たり前でない国や地域がある。
- ・ 平和は当たり前のことではないということを認識すること、平和でなくなったらどうなるのかを考えること、平和の尊さ、大切さ、戦争の怖さを理解すること。

平和の実現に課題となっていること

- ・ 自分たちの利益を優先していて、争いや紛争が絶えない。
- ・ 平和そのものがあいまいなため、考えにくく、実生活と結びつけにくい。
- ・ 人それぞれ考え方や文化は違うのに、それを差別しあってしまう人々がいる。

平和の実現のために自分たちができること

- ・ 偏った情報に惑わされずに、自分の意見を伝え考える。
- ・ 差別をせず、相手を認め、相手の意見を否定しない。人権教育として平和を考える機会を作ること。
- ・ いろいろな人の意見を聞き、自分の意見を伝えることが大切。
- ・ 戦争や平和について少しでも考えることが、平和に近づく第一歩。

2 こどもの権利についてのテレビ収録

テレビ松本の市政広報番組で、こどもの権利についての特集を放送することになり、委員の皆さんにお手伝いをお願いしたところ、4人が代表として収録に参加してくれました。

2週間分の撮影があったので、各回2人ずつ出演してもらいました。1週目は、こどもの権利に関する取り組み(こどもの権利擁護委員やこころの鈴、青少年の居場所)の紹介や未来委員会の活動内容の説明、2週目は、平和の集いでの発表やこどもの権利ウィーク、「松本こどもの権利の日」市民フォーラムについて説明してもらいました。





まつもと子ども未来委員会とは…？



- ◆ 「松本市子どもの権利に関する条例」に基づいて開催
- ◆ 小学5年～高校3年生
学校・地域・年代を越えて活動しています！
- ◆ 松本市の取り組みや、地域の課題を学び、話し合い、松本のまちづくりを自分たちで考えています



未来委員会のマークについて

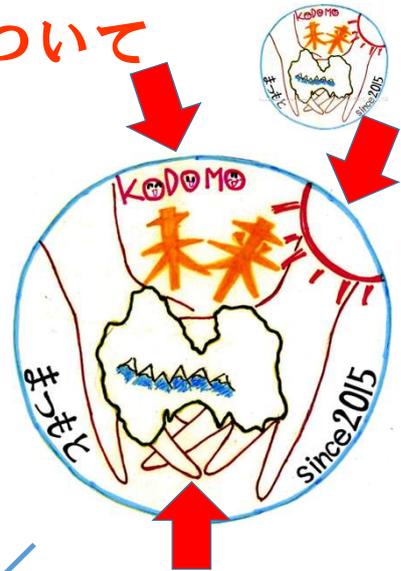
マークに込めた思い

笑顔でいっぱいになりたい

⇒KODOMOの“O”が笑顔になっている

松本と松本の自然を大切にしたい

⇒手の中に松本、山と太陽



未来委員会7か条

- 1 自分の考えを持つ
- 2 他の人の意見をしっかり聞く
- 3 互いを認め合う
- 4 積極的に取り組む
- 5 コミュニケーションを大切にす
- 6 松本をよく知る
- 7 楽しく委員会に参加する

第4期の未来委員が自分たちで考えました!



第7期の未来委員会



◆ 活動期間

令和3年4月～令和4年3月

◆ 委員

42人（小学生19人、中学生20人、高校生3人）

→ 継続13人、新規29人

◆ 大学生サポーター

7人（信州大学2人、松本大学3人、松本短期大学2人）

5

第7期のスローガン

★
★ 輝く松本の今、
そして未来を創ろう ★



6



市への提言

提言に向けた活動



- ◆ 自分たちが興味を持った事柄について、学習し、自分たちの考えをまとめる

環境

松本市の
PR

コロナ
対策

SNS



環境グループ

～松本のごみ問題と生物～



青木
大澤
杉野
森谷

結愛
悠
広樹
理生

青山
川嶋
坪田
山田

飛眞
栄太郎
拓磨
夢佐志

浅井
古池
平形

想矢
優奈
藤子

調べたこと

～松本市のごみ問題～

- ◆ 松本市のごみの量は1024g/1人1日
長野県の市の中で一番多い！



- ◆ ポイ捨てがある

松本城のお堀にペットボトルが捨てられている

駅前にポイ捨てが多い、全体的にタバコのポイ捨てが多い

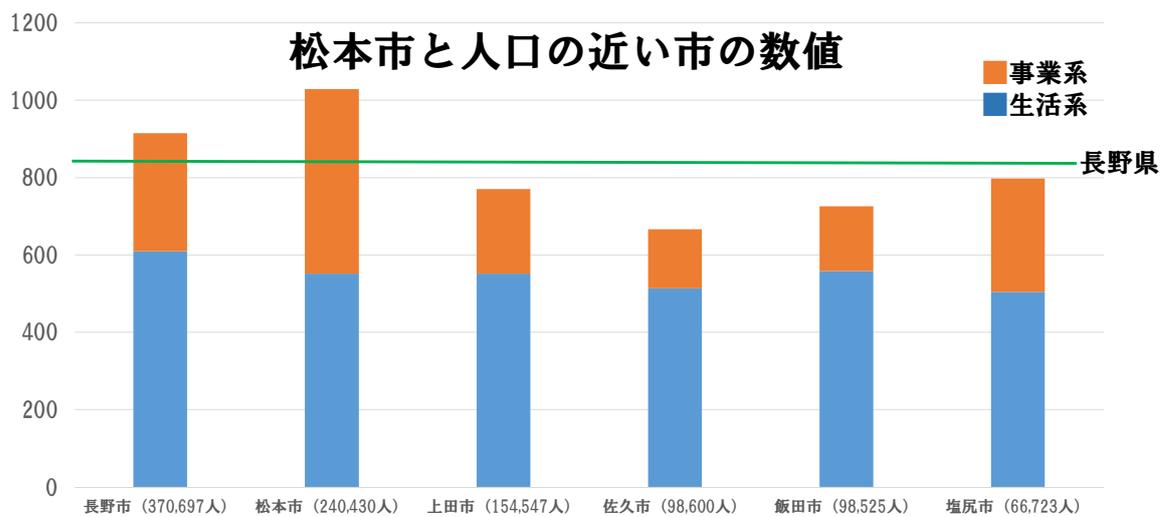
→清掃員さんがたくさん拾ってくれている

川にプラスチックごみが捨てられている

→川の生き物に被害を与える



市町村別 1人1日当たりのゴミ排出量（令和元年）





クリーンセンターで分かったこと

- ◆ リサイクルできる紙や衣服も可燃ごみとして捨てられてしまう
- ◆ 鉄の調理器具なども可燃ごみとして捨てられてしまうことがある



課題に感じたこと

松本市は出しているごみの量やポイ捨ての量が多い！



松本市の生き物に悪影響がある
資源がもったいない
ポイ捨てがあると、気分が良くない



市への提言



<マイボトルキャンペーン>

ペットボトルやカップの飲み物を減らして、ポイ捨てを少なくしよう



- ◆ 給水場所をお店や大通りに作る
- ◆ 松本マラソンや山雅の試合でマイボトルを持ってきた人たちにステッカーを貼ってあげる
- ◆ 飲食店で持ち帰りの時、マイボトルを持参すると割引

<環境ポスターを作る>

- ◆ 看板がボロボロになっているところがある
- ◆ ゴミの分別表の字が小さくて見にくい



分かりやすいポスターを作ろう！
松本城など観光地のパンフレットにポイ捨て防止の呼びかけを付けよう！





ごみを減らして
きれいな松本を守ろう！

19



コロナ対策グループ
～松本市のコロナ対策～



荒井
櫻井
滝野

結人
愛智
貴凌

安澤
高山
根本
橋本

優海
暁步
怜奈
昂賢

小池
高岡

智之
瑞希

○コロナについて調べようと思った理由



- ◆ 世界中で課題になっているコロナが松本市ではどうなのか調べたかった
- ◆ コロナで不安な人たちのことを考えたり調べたりしたかった
- ◆ 松本市のコロナの現状を知りたかった
- ◆ コロナによる二次被害への対策はどうなっているのかを知りたかった



安心して生活したい！

21

現状



- ◆ ワクチンの接種日が平日だと学校を欠席・早退しなければならない
- ◆ 感染警戒レベルが下がると外出する人が増える
- ◆ 身近で感染者が出ると、感染者について深く調べてしまう
- ◆ 修学旅行に行けなかった・修学旅行先が変更になった
- ◆ 給食の黙食が辛い



22



バス内の対策

- ◆ 乗務員の検温
- ◆ バス内の換気（車内の空気は5分で入れ替わる）
- ◆ 運転席に飛沫防止シート設置
- ◆ アルコール消毒液を設置
- ◆ プラズマクラスターの設置
- ◆ 手すり等の消毒
- ◆ マスク着用の呼びかけ



23



自分たちができること

- ◆ 感染してしまった人へのフォロー
- ◆ コロナ差別がおきないようにする
- ◆ 現状を理解し、その状況に合った行動をとる

24

市への提言



- ◆ 教室に換気扇を設置
- ◆ ワクチン接種を長期休暇中にそろえる
- ◆ レベルが下がってから1週間外出しない期間を設ける（リバウンド防止）
- ◆ コロナについての授業をする（自分たちが考える授業）
- ◆ 修学旅行などの変更は子どもたちにも相談する

25

まとめ



- ◆ 感染対策だけではなく、もっと視野を広げて向き合いたい
- ◆ 今提言した感染対策を取り入れる



26



PRグループ ～井戸のPR～



青木
伊藤
鈴木
藤池

萌花
英伶
咲歩
奈春
妃

荒江
大沢
滝川

杷心
朱夏
未央

石田
櫻井
布川

鈴華
舞
伶愛

子どもに向けたPR

小学校高学年～高校生に向けた、
お便り（右図）を作成しました

委員のいるクラスや学年に配り、
感想などについてのアンケートを
行い、それをもとに改訂版を作成
し、学校に配布したい

松本の井戸！！

はじめまして！松本子ども未来委員会です。委員は、松本市内の学校に通う小学5年生～高校3年生までを対象として集まった42人です。「輝く松本の今、そして未来を創ろう」をテーマに様々な活動をしています。

今回はこの活動で私たちが調べた井戸について紹介します。ぜひ読んでみてください。

松本にはたくさんの井戸があるんです。
皆さんはいくつ知っていますか？
今回は松本市にある井戸を2つ紹介します。

蔵の井戸



中町通りの蔵シツク館という館にあるこの井戸にはポンプがあって、自分で井戸水をだすことができます。昔ながらの景色を楽しめます。

辰巳の御庭



勝手通りの近くにあるこの井戸は整備されていて、とてもきれいです。井戸全体が長い。蔵の井戸とはまた違った雰囲気を楽しめます。

どちらの井戸も素敵なので機会があれば是非行ってください。街並みの景色も楽しめます。

松本子ども未来委員会

井戸の水質や味の特徴を分かりやすく まとめたものを井戸に貼る



- ◆ 水質表が分かりにくい
→もっと分かりやすいものがあれば、様々な年代の人に井戸に興味をもってもらえる
- ◆ 味の特徴がわかれば、井戸に立ち寄りやすくなる



29

井戸に東屋やベンチの設置をする



- ◆ 井戸が公園のように立ち寄りやすい場所になれば
利用者が増える
→良さを知ってもらえる
- ◆ 涼んだり休憩したりしてもらえる



30

足水の設置



※足水とは…足湯のお湯を井戸水にしたもの

- ◆ 水遊び感覚で井戸を利用してもらえるようになる
- ◆ 井戸の利用の仕方が増える
→利用者が増える



31

他県の取り組み



岐阜県（足湯）

- ◆ ほとんどの足湯に東屋が設置されている
- ◆ 子どもに向けた設備（公園のような場所）
- ◆ 来てもらいやすい立地（車通りの少ない道沿い）
- ◆ 入りやすく、立ち寄りやすい雰囲気になっている
→きれい、整備されている
- ◆ 地域の人々やほかの観光客と交流できる

32

市への提言



- ① 井戸の水質や味の特徴を井戸に貼り、誰にでもわかりやすい工夫をする
- ② すべての井戸に東屋やベンチを設置する
- ③ 足水 を設置する

以上の3つを提言します

33

SNSグループ ～インターネットが及ぼす影響～



阿部
岡本
河田
藤崎

康介
苑加
美紅
悠理

池田
沖本
鈴木
横川

千歩
悠真
柚葉
詩

井篁
上條
藤池

莉乃
乃愛
夏希

SNSについて調べようと思った理由



SNSの問題が最近、増えてきたように感じ現状を調べようと思ったため



ルールがあれば被害者や加害者になる可能性が低くなるが、被害や悪い点だけ表面化したり、SNSについて知識が偏っていることが分かった

35

調べるために行ったこと



- ◆ 警察の方に話を聞いた
- ◆ インターネットで調べた
- ◆ インターネットの危険についてのパンフレットを読み、それについて話し合った



36

浮かんできた問題点



- ◆ いじめが起こる
- ◆ 健康被害
- ◆ 個人情報の流出
- ◆ 誰でもいろいろなことに関われる(巻き込まれる)



いじめに関してより調べる方向へ



37

変わってきたいじめの手口



手紙やインターネットの掲示板などに悪口などを書く



LINEのステータスメッセージなどを利用したいじめ



証拠が残りにくく、悪質なものと変化している

38

解決するために必要なこと



- ◆ インターネットにあげる個人情報制限する
- ◆ 一つの情報を鵜呑みにしない
- ◆ 健康のためにストレッチをする時間を設ける
- ◆ SNSに対しての教育を強化する

39

市への提言



- ① ネットでの困ったことを相談しやすい環境を作る
- ② 勉強できない＝スマホの使い過ぎという考えを変えるために、学校側と協力して改善する

40

市への提言



- ③ SNSの使用を制限するだけでなく、色々な知識や、正しく恐れることの大切さを教える
⇒手段として条例を設定する、危険性を知らせる体験型のイベントを行う

- ④ 学校などで目のストレッチする時間を設ける、ストレッチの仕方講座の動画を作り学校に提供するなどの健康被害への対策も必要

41



ご清聴ありがとうございました！

42



令和3年8月15日

平和の実現を願って

第7期まつもと子ども未来委員会



戦争による子どもへの被害



- 食糧不足による**栄養失調**
- **家族と離れてしまう**（難民 疎開など）
- 19ヶ国で約25万人以上の「**少年少女**」が、**誘拐や強要により武器を持って「子ども兵」となっている**
- **教育環境が整わない**



戦争による子どもへの被害



- 世界では、1万2,000人以上の子どもが死傷している
(地雷・迫撃砲などに巻き込まれる)
- 「黒い雨」 (放射性物質を含んだ雨)

による健康被害の裁判

〈まとめ〉

- 人権が無視されている。
- 世界の6人に1人が紛争などによる被害を受けている

平和の実現のために必要なこと



「平和」ってなに？



- 教育を受けられること？
- 毎日ご飯を食べられること？
- 安心して暮らせる家があること？
- 差別がないこと？



平和の実現のために必要なこと



それらの「平和」を
実現するために・・・



平和の実現のために必要なこと



- 「平和」は当たり前のことではないということ
を認識すること
- 「平和」でなくなったらどうなるのかを考えること
- 平和の尊さ、大切さ、戦争の怖さを理解すること

平和の実現に課題となっていること



- 平和のイメージ・在り方を、理解できていない
- 自分たちの利益を優先している
 - ⇒ 争いや紛争が絶えない
- 戦争や被爆を経験した人が減ってきている
 - ⇒ 語り部がない
- 道徳の授業などで堅苦しく考える
 - ⇒ 「平和を考える＝面倒」



平和の実現に課題となっていること



- 世界では、平和ではないところがある
- 平和そのものが曖昧なため、考えにくい
 - ⇒ 実生活と結び付けにくい
- 人それぞれ考え方や文化は違うのに…
それを差別し合ってしまう人々がいる

皆さん「平和」について
考えたことがありますか？

平和の実現のために自分たちができること



- 偏った情報に惑わされずに自分の意見を伝え、考える
- 今までの全国の平和祈念式典の言葉やテーマを学ぶ
- 戦争の残酷さや現状を知り、平和そのものに感謝する
- 差別をせず、相手を認め、相手の意見を否定しない
- 自分にとっての平和について考える
- 「自分の平和」と「みんなの平和」を比べる
- 人権教育として平和を考える機会をつくる

ご清聴

ありがとうございました

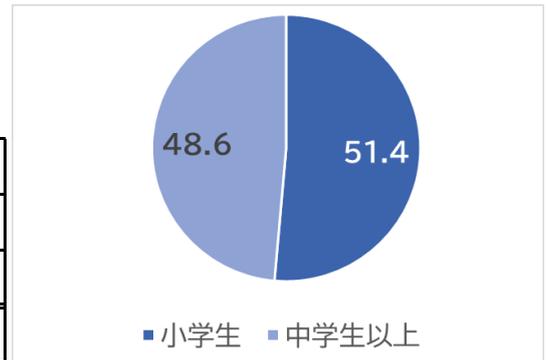


青木	萌花	石田	羚華
伊藤	英怜奈	大沢	朱夏
大澤	悠	小池	智之
高岡	瑞希	滝澤	智貴

3 未来委員会初回アンケート結果

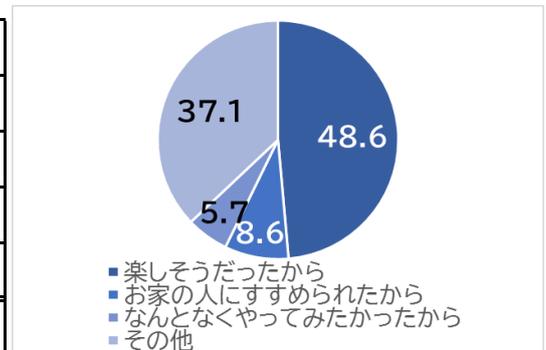
学年

	人数	割合(%)
小学生	18	51.4
中学生以上	17	48.6
合計	35	100



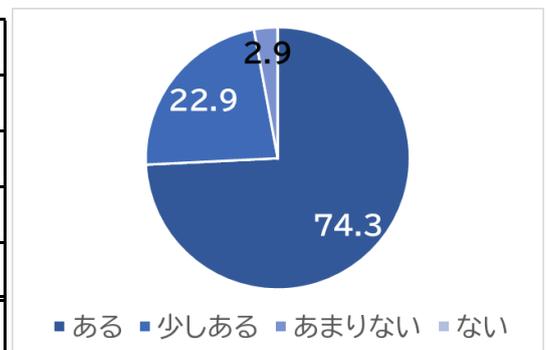
参加のきっかけ

	人数	割合(%)
楽しそうだったから	17	48.6
お家の人にすすめられたから	3	8.6
なんとなくやってみたかったから	2	5.7
その他	13	37.1
合計	35	100



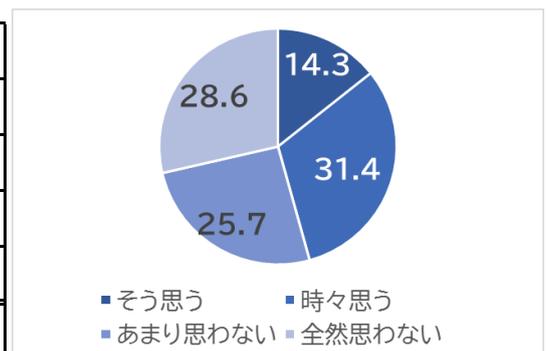
松本市への興味・関心

	人数	割合(%)
ある	26	74.3
少しある	8	22.9
あまりない	1	2.9
ない	0	0.0
合計	35	100



人前で発言することを恥ずかしいと思うか

	人数	割合(%)
そう思う	5	14.3
時々思う	11	31.4
あまり思わない	9	25.7
全然思わない	10	28.6
合計	35	100



自分の言いたいことが言えないことがあるか

	人数	割合(%)
よくある	7	20.0
時々ある	11	31.4
あまりない	9	25.7
全然ない	8	22.9
合計	35	100



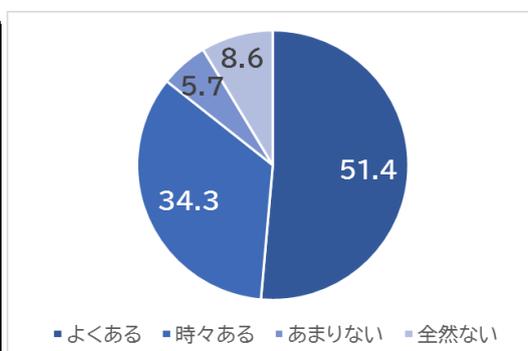
家庭で自分の意見を言うことがあるか

	人数	割合(%)
よくある	25	71.4
時々ある	7	20.0
あまりない	3	8.6
全然ない	0	0.0
合計	35	100



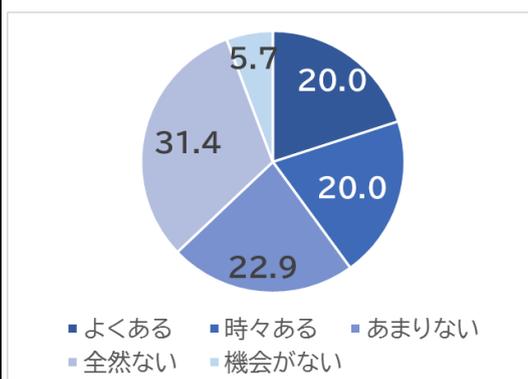
学校で自分の意見を言うことがあるかどうか

	人数	割合(%)
よくある	18	51.4
時々ある	12	34.3
あまりない	2	5.7
全然ない	3	8.6
合計	35	100



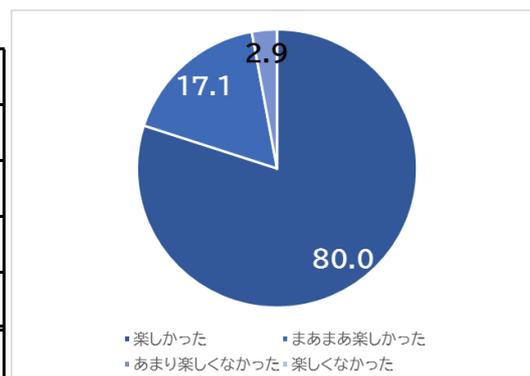
地区で自分の意見を言うことがあるかどうか

	人数	割合(%)
よくある	7	20.0
時々ある	7	20.0
あまりない	8	22.9
全然ない	11	31.4
機会がない	2	5.7
合計	35	100



初回の委員会について

	人数	割合(%)
楽しかった	28	80.0
まあまあ楽しかった	6	17.1
あまり楽しくなかった	1	2.9
楽しくなかった	0	0.0
合計	35	100



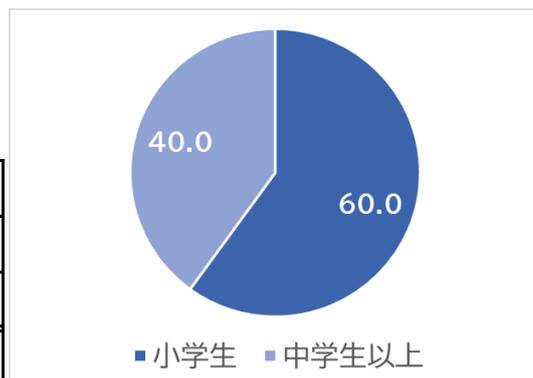
初回の感想

- ・ 様々な人がいて、楽しかったけどとても緊張した。
- ・ 自己紹介でみんな話を最後までしっかりと聞いてくれて、相槌を打ってくれたので、とてもうれしかったです。
- ・ オリエンテーションや委員長、副委員長決めをして、未来委員会の土台ができて、これから「やるぞ！」という気持ちになれました。いろいろな人と話ができて楽しかったです。今日 1 日とても楽しかったです。
- ・ 人数が増えていてびっくりした。
- ・ 今日は緊張して、言えない時もあったけど、次回から積極的にできるといいなと思いました。
- ・ 初めてだったけど、とっても楽しかったです。
- ・ 初めての参加で、緊張したけど楽しめてよかった。次回が楽しみ。
- ・ はじめはすごく緊張していたけど、雰囲気がいいなと思って安心できました。これから、意見を話し合っていきたいと思えました。ありがとうございました。
- ・ 初めてで、緊張したけど、楽しそうでよかった。これからもこの活動を頑張りたいと思った。
- ・ グループの人の話をしっかり聞いたことや、自分の意見を言えたところがこれからも続けられるといいと思いました。
- ・ 新しく参加をしてくれた人がとても多かったので、見本になれるよう積極的に参加していきたいと思いました。
- ・ 初めてで、緊張していたけど、グループでしっかり話せてよかった。楽しかったです。
- ・ 人数がとても多かった。友達がいるよかった。これから、どんなことをやるかわくわくしている。
- ・ 初めて参加して楽しかった。特に班の人との話し合いと意見を聞いたところが楽しかった。緊張していたけど温かい感じだった。
- ・ 新しく入った人と話せてよかったです。一年を通してもっと話せたらいいと思っています。
- ・ 今回が初めてだったけど、感じがつかめたからよかった。
- ・ 最初に人数が多く、昨年とはまた違った進め方ができそうだなと思いました。
- ・ 委員長とかを立候補している人がいてすごいと思った。初めて今日来たけど、気軽に話せる友達がいるよかった。

4 未来委員会最終回アンケート結果

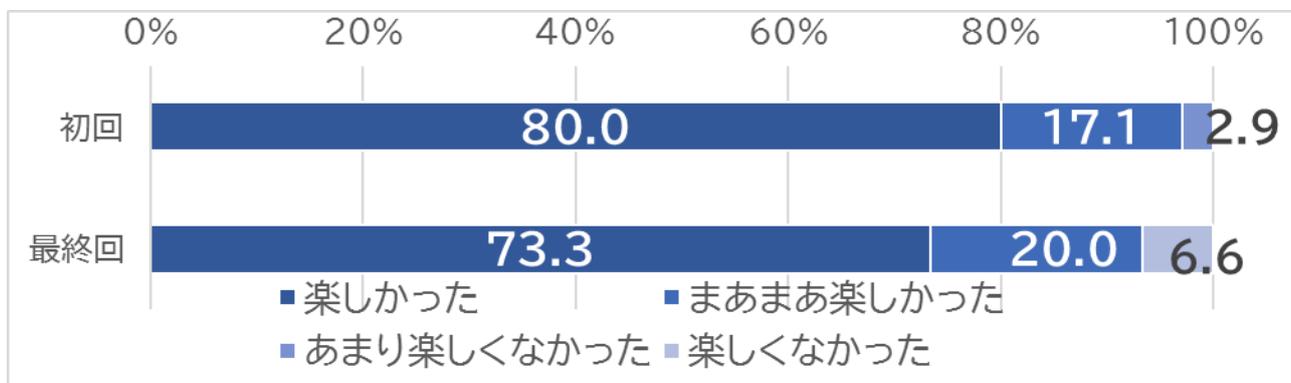
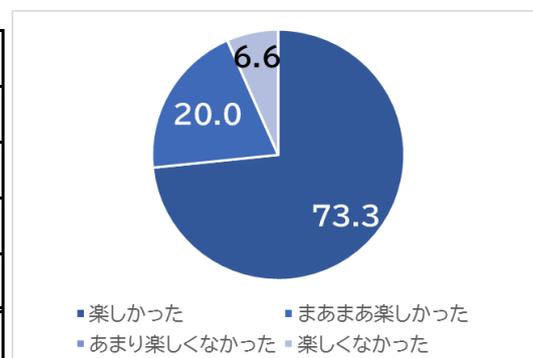
学年

	人数	割合(%)
小学生	9	60.0
中学生以上	6	40.0
合計	15	100



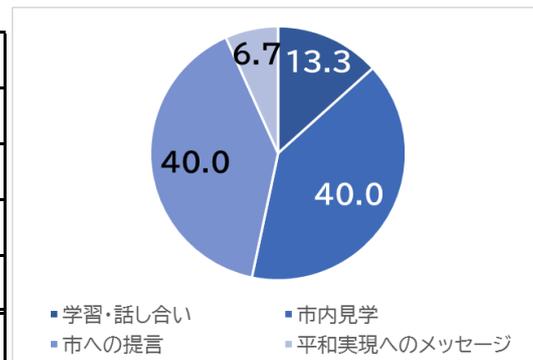
委員会の感想

	人数	割合(%)
楽しかった	11	73.3
まあまあ楽しかった	3	20.0
あまり楽しくなかった	0	0.0
楽しくなかった	1	6.6
合計	15	100



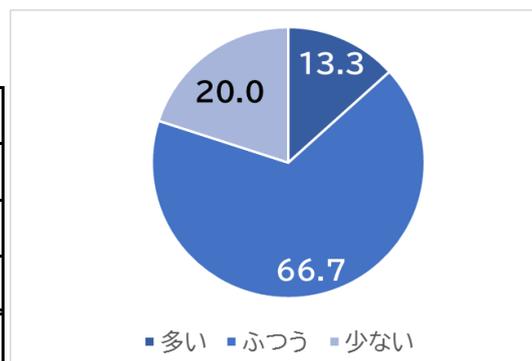
一番思い出に残っていること

	人数	割合(%)
学習・話し合い	2	13.3
市内見学	6	40.0
市への提言	6	40.0
平和実現へのメッセージ	1	6.7
合計	15	100



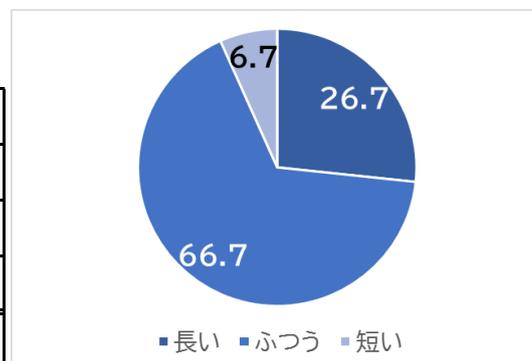
委員会の回数について

	人数	割合(%)
多い	2	13.3
ふつう	10	66.7
少ない	3	20.0
合計	15	100



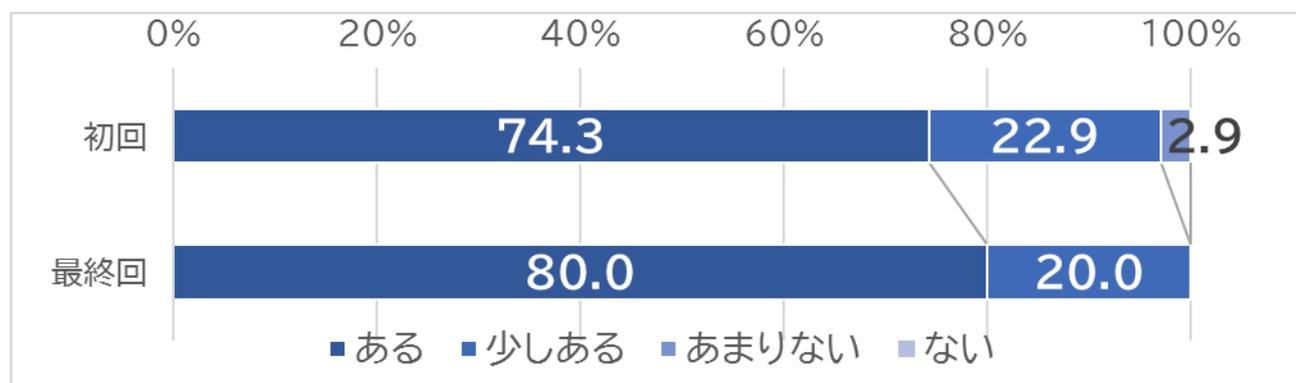
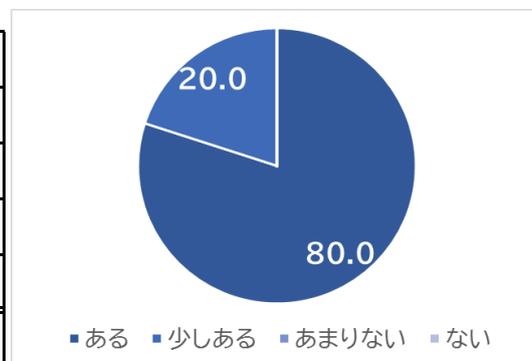
委員会の時間について

	人数	割合(%)
長い	4	26.7
ふつう	10	66.7
短い	1	6.7
合計	15	100



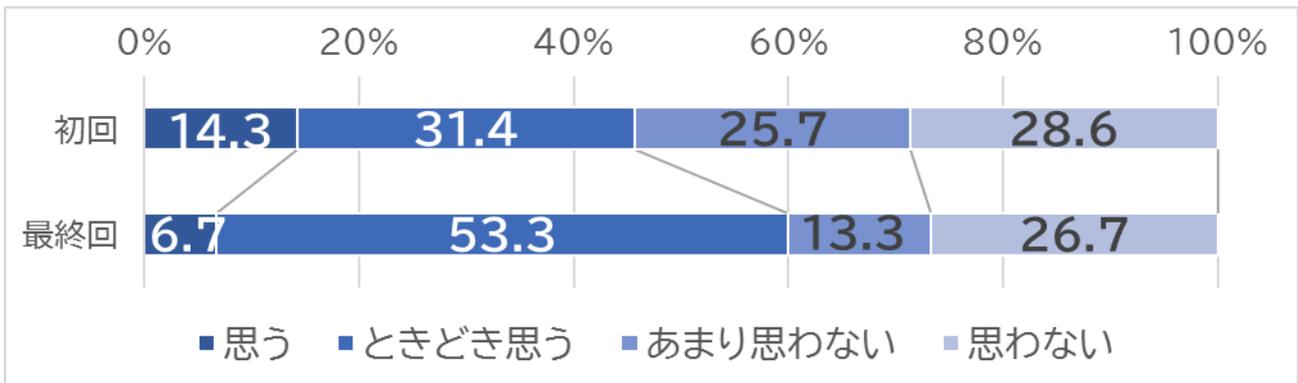
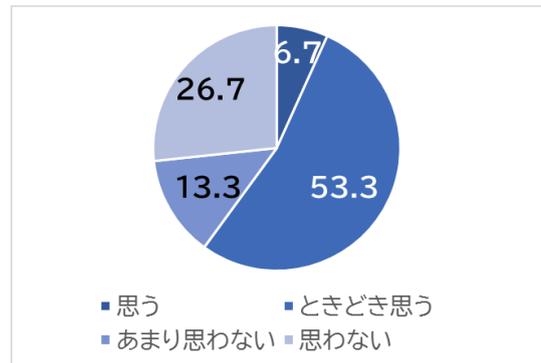
松本市への興味・関心

	人数	割合(%)
ある	12	80.0
少しある	3	20.0
あまりない	0	0.0
ない	0	0.0
合計	15	100



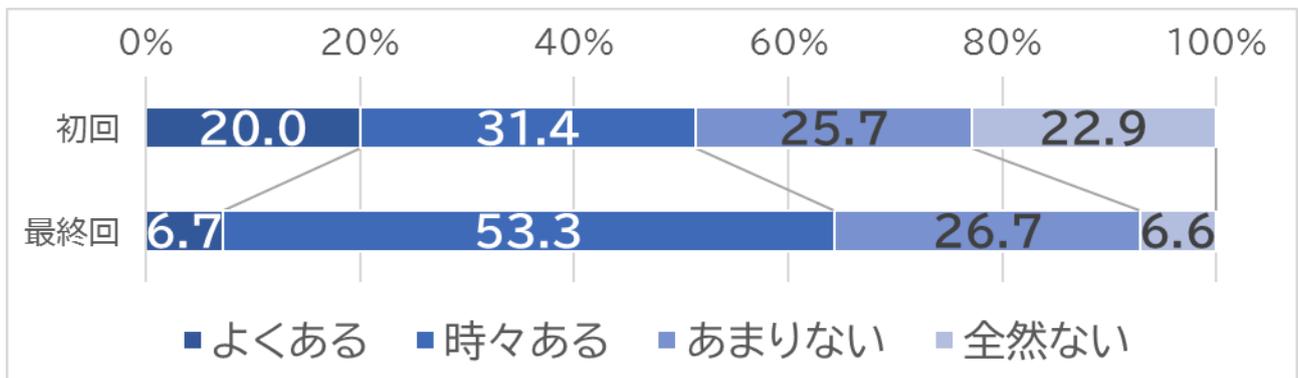
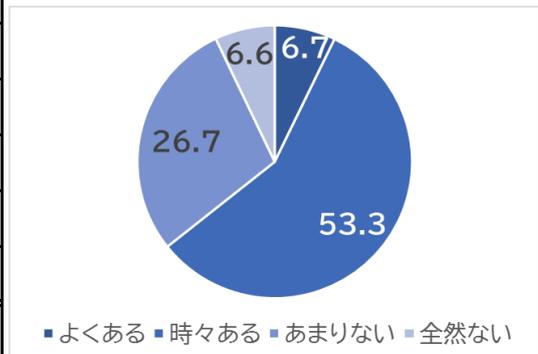
人前で意見を言うことを恥ずかしいと思うか

	人数	割合(%)
思う	1	6.7
ときどき思う	8	53.3
あまり思わない	2	13.3
思わない	4	26.7
合計	15	100



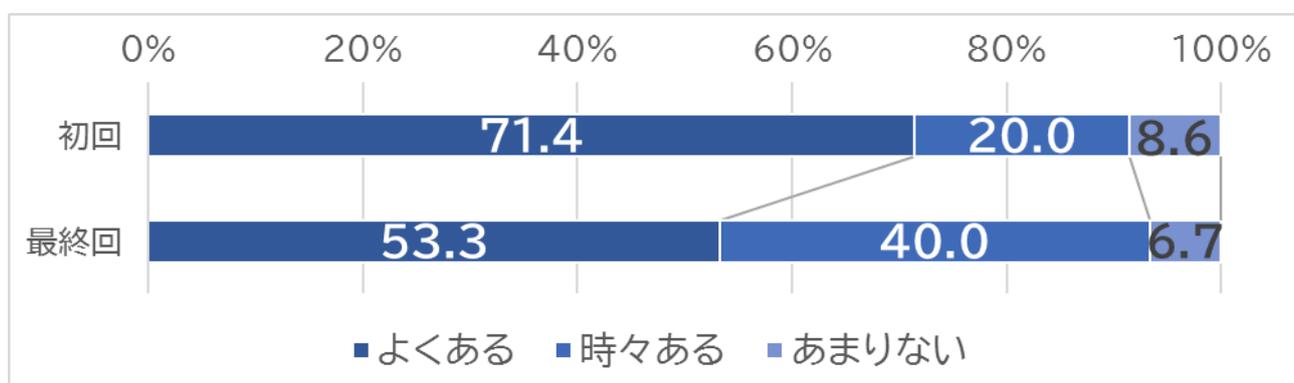
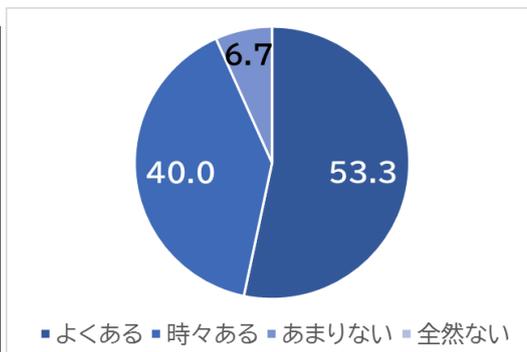
自分の言いたいことを言えないことがあるか

	人数	割合(%)
よくある	1	6.7
時々ある	8	53.3
あまりない	4	26.7
全然ない	1	6.6
無回答	1	6.6
合計	15	93



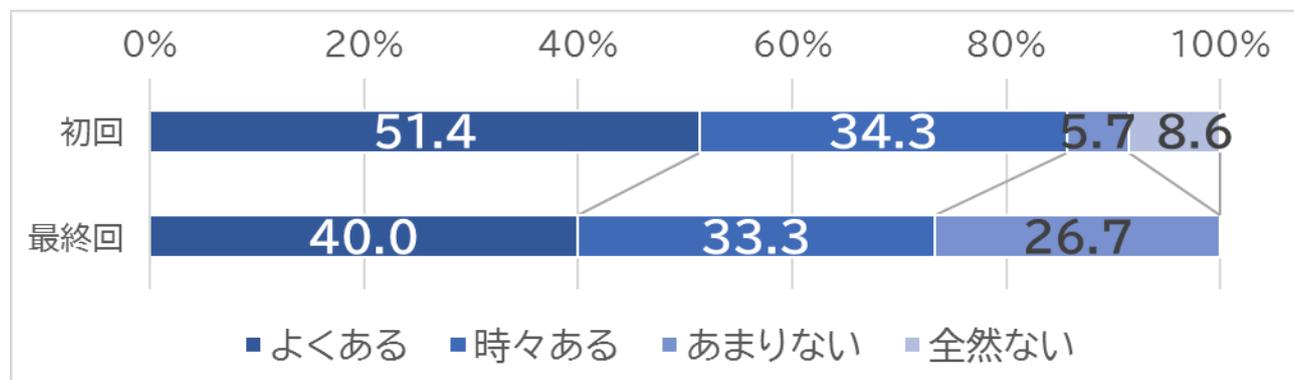
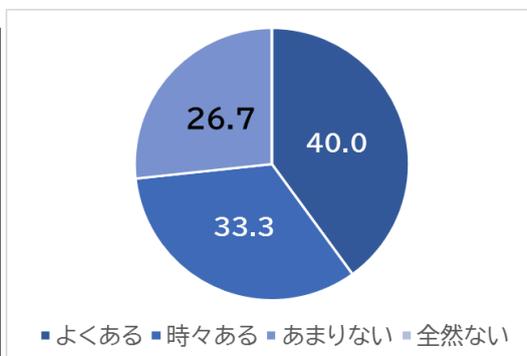
家庭で自分の意見を言うことがあるか

	人数	割合(%)
よくある	8	53.3
時々ある	6	40.0
あまりない	1	6.7
全然ない	0	0.0
合計	15	100



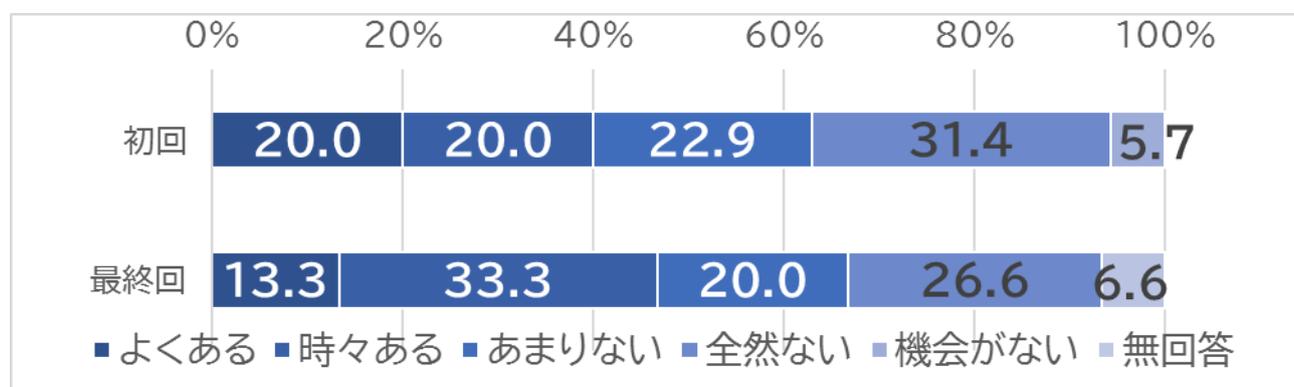
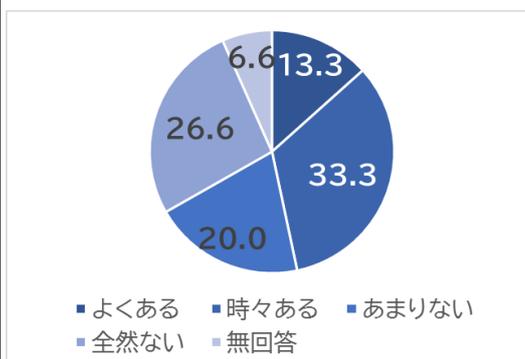
学校で自分の意見を言うことがあるか

	人数	割合(%)
よくある	6	40.0
時々ある	5	33.3
あまりない	4	26.7
全然ない	0	0.0
合計	15	100



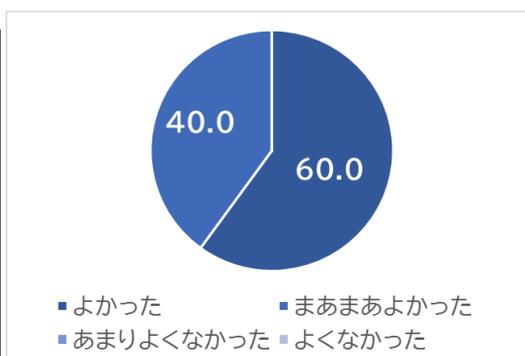
地区で自分の意見を言うことができるか

	人数	割合(%)
よくある	2	13.3
時々ある	5	33.3
あまりない	3	20.0
全然ない	4	26.6
無回答	1	6.6
合 計	15	100



サポーターの感想

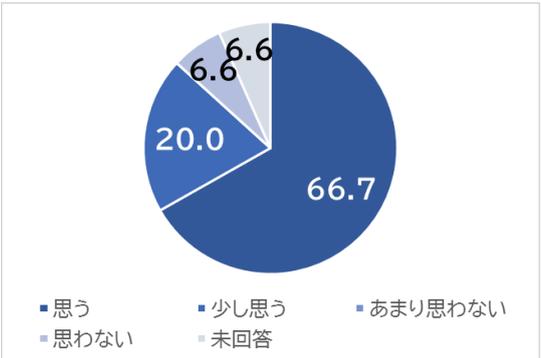
	人数	割合(%)
よかった	9	60.0
まあまあよかった	6	40.0
あまりよくなかった	0	0.0
よくなかった	0	0.0
合 計	15	100.0



- ・ その場において意見を求められたとき、的確に答えてくれた。
- ・ 大人の意見を聞くことができた。
- ・ 優しく、明るくて、いろいろ教えてくれたから。
- ・ 意見をうまくまとめてくれた。
- ・ 自分たちとも職員の方とも違う立場の話が聞けるから。
- ・ エクセルなどにまとめる際にアドバイスをしてくれた。
- ・ 話すことは少なかったが、インターネットの扱い方などで困ったことがあった時助けてもらったからよかった。

次期委員会に参加したいと思うか

	人数	割合(%)
思う	10	66.7
少し思う	3	20.0
あまり思わない	0	0.0
思わない	1	6.6
未回答	1	6.6
合計	15	93

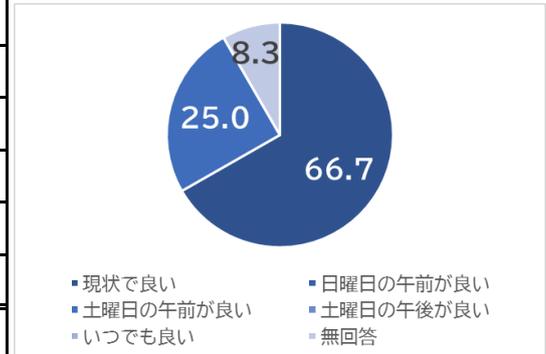


- ・ 人との交流が深まったから。
- ・ いろんな経験をしたいから。
- ・ 話し合いが楽しかったから。
- ・ コロナでできなかった時もあったから。
- ・ また市への提言を試してみたいから。
- ・ 迷っています。
- ・ 普段しないことができるから(松本市についての話し合いや提言)
- ・ 新しく習い事を始めて時間に余裕がなくなったから。
- ・ 時間的に厳しい時もあるが、学校を超えた仲間と意見を交換するのは楽しいから。
- ・ とても楽しくて、自分のためにもなる活動をしていたから。

5 未来委員会保護者向けアンケート結果

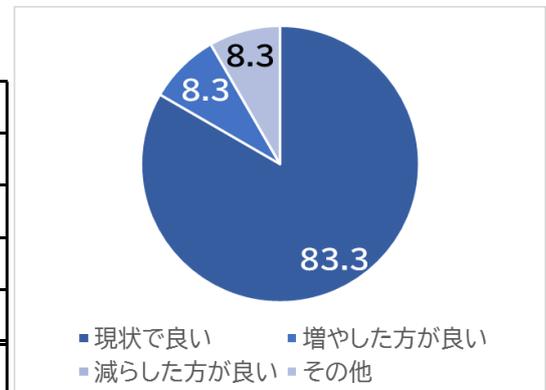
日程について

	人数	割合(%)
現状で良い	8	66.7
日曜日の午前が良い	0	0.0
土曜日の午前が良い	3	25.0
土曜日の午後が良い	0	0.0
いつでも良い	0	0.0
無回答	1	8.3
合計	12	100



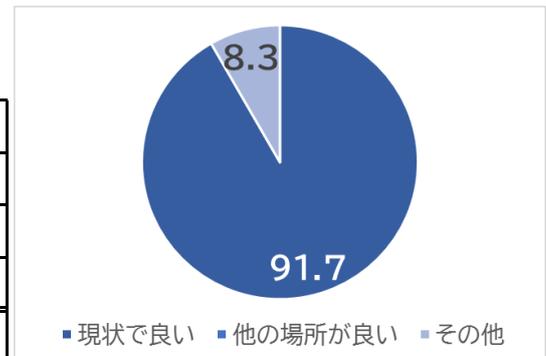
回数について

	人数	割合(%)
現状で良い	10	83.3
増やした方が良い	1	8.3
減らした方が良い	0	0.0
その他	1	8.3
合計	12	100



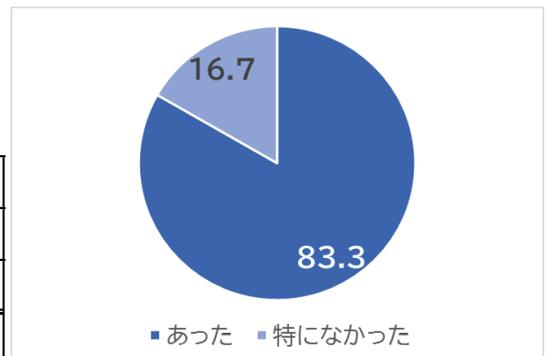
開催場所について

	人数	割合(%)
現状で良い	11	91.7
他の場所が良い	0	0.0
その他	1	8.3
合計	12	100



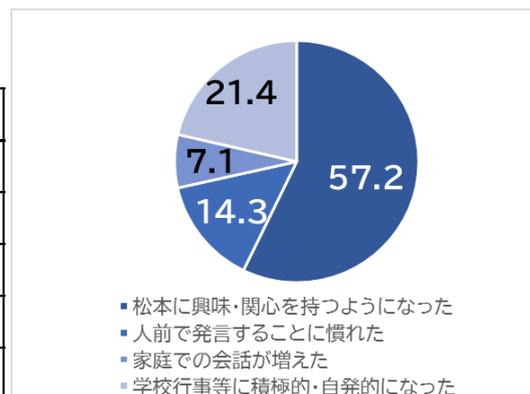
子どもに変化があったかどうか

	人数	割合(%)
あった	10	83.3
特になかった	2	16.7
合計	12	100



変化の内容(複数回答)

	人数	割合(%)
松本に興味・関心を持つようになった	8	57.2
人前で発言することに慣れた	2	14.3
家庭での会話が増えた	1	7.1
学校行事等に積極的・自発的になった	3	21.4
合計	14	100



- ・ 自分の世界が広がる良い場を提供していただき、ありがとうございます。
- ・ いつもありがとうございます。市長提言など、なかなか経験できない事など経験させていただきありがとうございます。
- ・ 他の学校・年の違う人と出会い話し合えるのは貴重な機会と思いました。楽しんで参加していたようで、事務局の皆さんや大学生サポーターの方々に感謝しております。
- ・ 楽しんで委員会に参加でき、いい刺激になっているようです。これから出ていく社会について考えられるいい機会だと思います。
- ・ ほかの学校のお子さんと親しくなり、毎回委員会を楽しみにしていたようです。井戸見学は特に楽しかったようで、その時の様子を家族にいきいきと話していました。松本市により愛着を持つことができたようです。コロナの感染レベルが高い状況では、オンラインの開催にしてもよいのではと思いました。



まつもと子ども未来委員会のマークに子どもたちが込めた思い

- ① 松本を大切にしたい（手の中に松本市）
- ② 笑顔でいっぱいになりたい
- ③ 松本の自然（山・太陽）を描きました